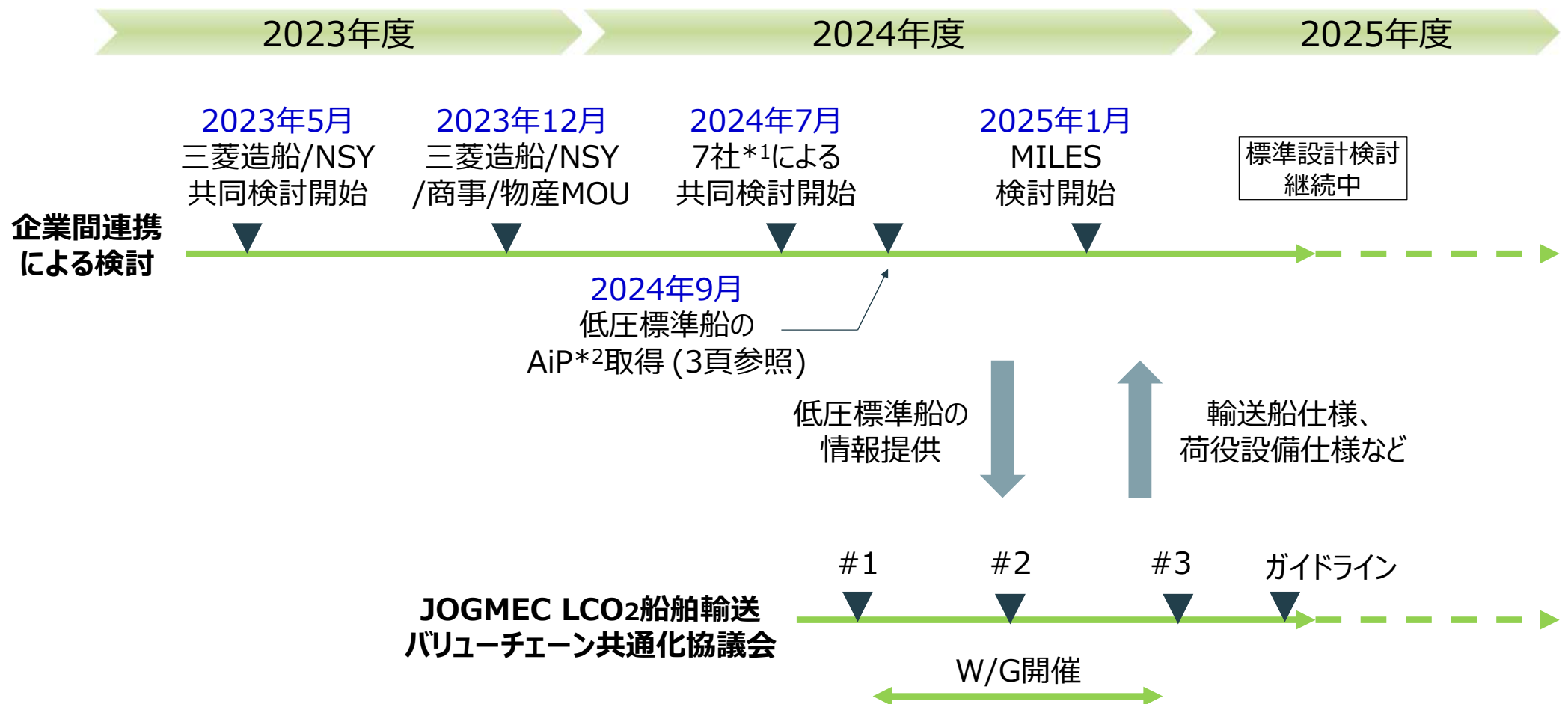


第6回「船舶産業の変革実現のための検討会」

資料2-3

液化CO₂輸送船 標準化の取組状況

2025年6月19日
三菱造船(株)



* 1 : 三菱造船、NSY、今治造船、JMU、NYK、MOL、K-LINE。

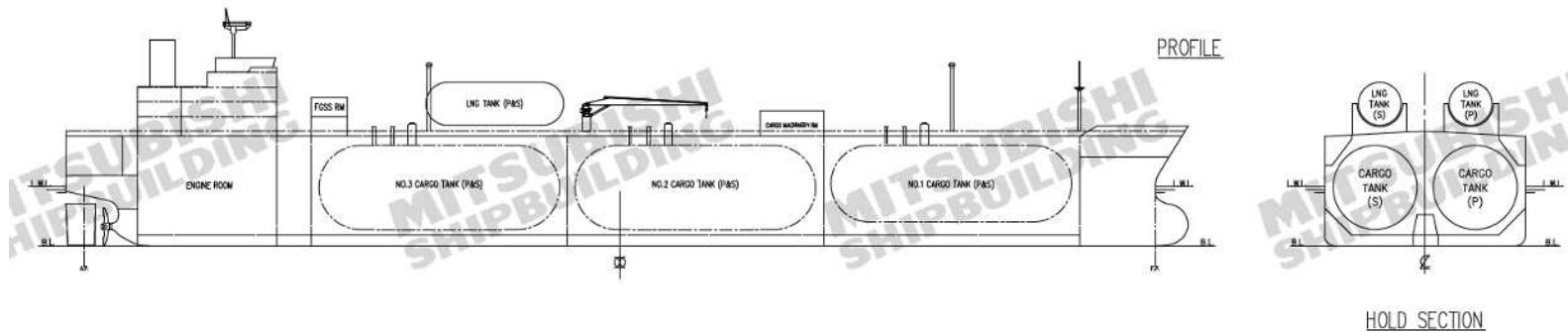
* 2 : 三菱造船、NSY、三菱商事、三井物産、NYK、MOL、K-LINE の7社連名による。

低圧標準LCO₂船のAiP

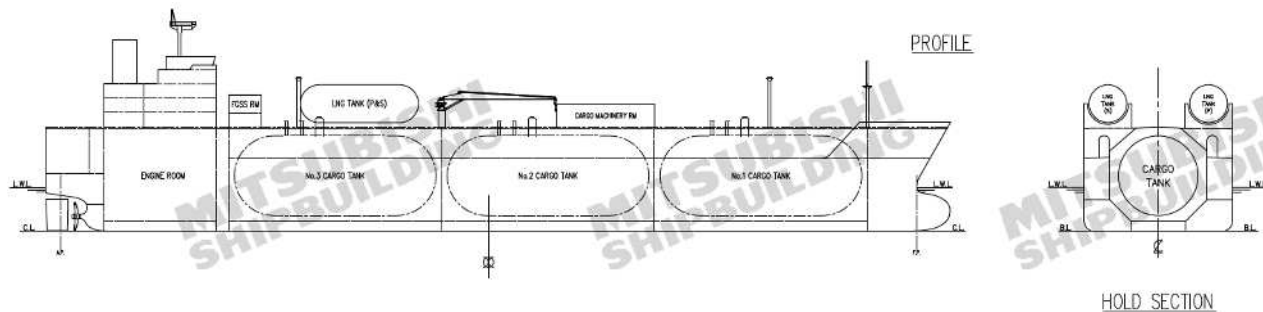
- 下記2船型の標準低圧LCO₂船につき、NKおよびABSからAiPを取得。
(2024年9月のGastechで授与式)



三菱造船、NSY、三菱商事、
三井物産、NYK、MOL、
K-LINE の7社連名。



低圧50,000m³船



低圧23,000m³船

- METI資源エネルギー庁の“CCS 事業の支援措置に関するWG”では、国内パイプライン案件を最優先として議論されており、船舶輸送前提のCCS事業立上り(運転開始)は2030年より若干遅れる可能性が高い。
- ただし今後、CO₂をマレーシアや豪州など海外で貯留するCCS事業に関し、大型外航LCO₂船の需要は確実に発生すると考えられるため、これに備えるべく関係各社と協力して標準設計検討を進める。
- 一方で海外貯留案件のうち、ハブ&クラスター構想を前提とするPJでは、CO₂排出地点からハブまでの短距離輸送に適した小型内航LCO₂船のニーズあり。
- 小型内航船については今後、建造造船所や関連メーカーを含めた協業体制の構築を進めたい。

MOVE THE WORLD FORWARD

mitsubishi
heavy
industries
group